

／ 輝く笑顔、未来のために ／

平成 30 年度

# 市の予算

市議会 2 月定例会において、平成 30 年度当初予算が原案どおり可決されました。一般会計は、382 億 1,500 万円。前年度と比較し 16 億 500 万円、4.4% の増となりました。今年度は「新市立島田市民病院建設事業」や「新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺整備事業」、「空港周辺プロジェクト推進事業」など、島田市の未来を担う大型事業が形となって動き出す非常に重要な一年です。主要施策を着実に推進し、市の将来像「笑顔あふれる 安心のまち 島田」の実現に向け、まちづくりを進めていきます。



Enjoy!



Happy!



## 島田市の家計簿

平成 30 年度一般会計予算を年収 500 万円の家計に例えてみると

### 収入

項目	予算科目	金額
給料	市税	184 万円
諸手当	分担金・負担金	5 万円
パート収入	使用料など	6 万円
親からの仕送り	地方交付税 国庫(県) 支出金	203 万円
貯金の取り崩し	繰入金	29 万円
借金	市債	50 万円
その他	財産収入 寄付金など	23 万円
<b>合計</b>		<b>500 万円</b>

### 支出

項目	予算科目	金額
食費	人件費	74 万円
医療費	扶助費	105 万円
ローン返済	公債費	62 万円
光熱水費などの生活費	物件費	99 万円
交際費・習い事代	補助金など	45 万円
子どもたちへの仕送り	繰出金	36 万円
家の増改築費など	建設事業費	62 万円
車や家の維持・修理代	維持補修費	2 万円
貯金など	積立金・投資 および出資金	14 万円
その他		1 万円
<b>合計</b>		<b>500 万円</b>

今、時代は大きく変わりつつあります。高い経済成長に基づく社会保障制度をはじめとするシステムは揺らぎ始め、量や拡大を求める声に対応する行政サービスの提供は困難になっています。

このような背景の中、平成30年度から8年間のまちづくりの設計図となる「第2次島田市総合計画」が始動します。この計画では、これからの市政運営の方向性をはっきりと示しました。人口減少、それに起因する緩やかな下降線を予感させる社会経済情勢の中にあつて、真に必要な施策・事業を選択し、資源を集中させ、市民の幸福度を上げていく「量」から「質」への転換、すなわち「縮充」という考え方です。

限られた財源の中で、絶え間なく発生する諸課題に的確かつ効率的に対応するためにも、市は政策の質を重視し経営資源の最適化を図り、芯の通った経営方針に裏打ちされた実行力を伴わなくてはなりません。加えて、市民と行政の協働、すなわち人の力を課題解決やまちの魅力の創造につなげていくことが求められています。

まちづくりのたすきを次の世代へと確実につなげていくため、人づくりを機軸に、まちの活力の創造と生活の安心感につなげる「輝く人づくり」「輝くまちづくり」「輝きのある生活づくり」の3点を重点施策に掲げ、総合計画を推進していきます。

## 3つの重点施策

### 輝きのある生活づくり (安全・安心)

市の宝とも言える「子ども」を持つ子育て世代への支援として、出産後の母親への健康診査やケア事業を新たに開始するとともに、保育所・放課後児童クラブの整備に引き続き取り組んでいきます。

このほか、保育料の第2子半額と第3子以降無償化の継続や、こども医療費助成の制度拡充により、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる、ゆとりある生活を実現していきます。

さらに、出産を機に就業率が低下する子育て中の母親をターゲットに「マザーズハローワーク」を含めた総合相談体制を充実するなど、「子育てするなら島田市で」をさらにステップアップさせていきます。

### 輝くまちづくり (稼ぐ力)

旧金谷中学校跡地への施設整備は、富士山静岡空港周辺地域に新たな交流とにぎわいを生み出し、新東名島田金谷IC周辺整備事業との相乗効果により、市内全域へ波及効果をもたらす「さらなる稼ぐ力」として大きな期待が寄せられています。

地域産業力の強化として「島田ビジネススクール」を新たに開講し、市内中小企業者の経営力向上や意識改革を促進し、魅力ある企業の育成を支援していきます。

中心市街地の活性化については、3月にオープンした「しまだ音楽広場」を回遊の新たな拠点と位置付け、こども館やおび通りなどのイベントと連携させ、にぎわいの創出に努めています。

### 輝く人づくり

社会情勢の変化に応じた必要かつ適切な教育環境の整備のため、「外国語教育」や「ICT機器を活用した授業」の推進に努めます。また、島田第四小学校改築事業や神座小学校校舎耐震化事業など、学校施設の整備を進めていきます。

このほか、協働のまちづくりへの理解を深めていくほか、市民の皆さんが積極的に地域に関わることができる機会を設けていきます。

島田市に暮らす人はもちろんのこと、一旦島田市を離れたとしても、広く見聞を得て「島田に戻りたい」「島田を盛り上げ活躍したい」「島田を変える力になりたい」、そう願う人を育てるため、さまざまな施策を展開していきます。



こども館



しまだ音楽ひろば



ペッパー  
Pepper プログラミング講座





総合スポーツセンター「ローズアリーナ」

# 平成30年度 主要事業

## 2 子育て・教育環境が 充実するまちづくり

○民間保育所等施設型給付費	24億4,325万円
○こども医療扶助費	3億3,000万円
◎総合スポーツセンター改修事業	2億580万円
○民間保育所施設整備助成事業	1億2,224万円
○島田第四小学校改築事業	1億1,330万円
○田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場 整備事業	1億544万円
○神座小学校校舎耐震化事業	3,300万円
◎産婦健康診査事業・産後ケア事業	838万円
◎子どもの貧困対策計画策定事業	326万円

平成30年度当初予算に計上した主要事業について、島田市総合計画で取り組む7つのテーマに分けて紹介します(◎は平成30年度新規事業)。



蓬萊橋 897.4 茶屋



新市立島田市民病院 (イメージ図)

## 3 地域経済を 力強くリードするまちづくり

○企業立地促進事業費補助金	1億4,889万円
○ICT推進プロジェクト事業	1億2,534万円
○茶生産施設等整備事業	8,038万円
○蓬萊橋周辺整備事業	6,100万円
○茶業振興事業	2,410万円
○しまだ音楽広場管理運営経費	1,645万円
○産業支援センター運営事業	440万円
◎ビジネススクール運営事業	329万円
◎アジアパシフィックティーエキスポ開催経費	300万円

## 1 安全ですこやかに暮らせるまちづくり

○消防救急広域事務委託費	11億489万円
○新病院建設に係る一般会計繰出金	6億1,160万円
○放課後等デイサービス給付費	2億8,000万円
○消防自動車更新事業	4,293万円
○防災施設・資機材整備事業	3,342万円
○自主防災組織育成事業	1,555万円
○消防団資機材整備事業	1,118万円
○市民後見人養成事業	287万円
○健幸マイレージ推進事業	155万円



新東名島田金谷 I.C. 周辺賑わい交流拠点 (イメージ図)



環境講座 (伊太小学校)

## 6 ひと・地域を支える 都市基盤が充実するまちづくり

○内陸フロンティア推進区域整備事業	3億9,594万円
○賑わい交流拠点整備事業	3億7,537万円
○橋りょう長寿命化修繕・耐震事業	2億3,270万円
○生活道路改良事業	1億2,350万円
○空港周辺プロジェクト推進事業	7,209万円
○光ファイバ網整備事業	5,229万円
◎向島町公園整備事業	5,175万円
○島田駅南北自由通路管理経費	4,973万円
◎新病院周辺道路改良事業	2,950万円

## 4 住みよい生活環境があり、 自然とともに生きるまちづくり

○ガス化溶融施設管理運営経費	8億7,337万円
○コミュニティバス運行管理経費	2億5,670万円
○合併処理浄化槽設置助成事業	1億1,786万円
○クリーンセンター長寿命化事業	3,869万円
◎林地台帳整備事業	2,321万円
○川根温泉メタンガス利活用事業	837万円
◎旧清掃センター解体事業	720万円
○男女共同参画社会推進事業	265万円
○クールチョイス推進事業	70万円



市役所周辺整備に係るおでかけワークショップ



モンゴル国ボクシングチームの市内合宿

## 7 人口減少社会に挑戦する経営改革

○自治会活動支援事業	3,448万円
○公共施設マネジメント実施経費	3,036万円
◎市役所周辺整備事業	2,127万円
○町内会組織助成事業	2,086万円
○協働のまちづくり推進事業	1,088万円
○広域行政推進経費	1,030万円
○コミュニティ育成支援事業	750万円
○まちづくり支援事業交付金	321万円
○30歳の同窓会実施事業	200万円

## 5 歴史・文化がかがやく、 人が集まるまちづくり

○文化施設管理運営経費	1億8,183万円
○諏訪原城跡整備事業	3,151万円
○広報活動経費	1,631万円
○オリンピック・パラリンピック合宿経費	1,266万円
○地域おこし協力隊派遣事業	1,239万円
○シティプロモーション推進事業	1,170万円
○マラソン大会開催経費	1,040万円
○移住・定住促進事業	893万円
◎文化芸術推進計画策定事業	567万円



# 382 億 1,500 万円

## 市の会計の構成

島田市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計で構成されています。

一般会計は、まちづくりや福祉、産業経済、教育など市の全般的な事業を行うための会計です。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするため、一般会計と経理を区分しています。現在、国民健康保険事業など8つの特別会計を設けています。

企業会計は、事業収入により公共の利益を目的に経営する事業の会計で、現在は水道事業と病院事業に企業会計を設けています。

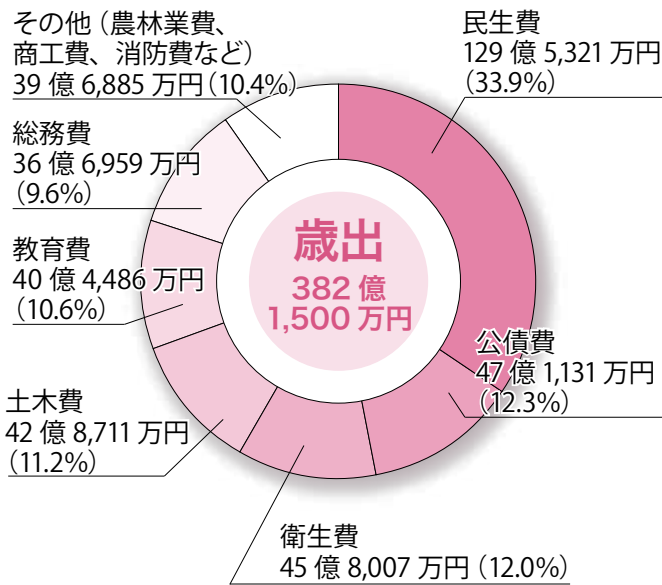
## 一般会計当初予算

### 〔歳出〕

衛生費は、新病院建設事業に伴う病院事業会計繰出金の増などにより、前年度比4億5391万円（11%）の増額となっています。また、教育費は、総合スポーツセンター改修事業、田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場整備事業の増などにより、前年度比3億2970万円（8.9%）の増額となっています。

一方で総務費は、光ファイバ網整備事業などの減により、前年度比2億4383万円（6.2%）の減額となっています。

## 歳出の内訳



## 市民1人当たりの歳出予算は

およそ **38 万 5,601 円** です

- 民生費：約 13 万 702 円
- 公債費：約 4 万 7,539 円
- 衛生費：約 4 万 6,214 円
- 土木費：約 4 万 3,258 円
- 教育費：約 4 万 814 円
- 総務費：約 3 万 7,027 円
- その他：約 4 万 47 円

※平成30年2月28日現在の人口9万9,105人で算出。

## 会計別予算額

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	382 億 1,500 万円	4.4%
II 特別会計	215 億 5,418 万円	△ 4.4%
国民健康保険事業	96 億 8,083 万円	△ 12.1%
簡易水道事業	3 億 9,212 万円	67.2%
土地取得事業	6 億 4,289 万円	2.4%
休日急患診療事業	1,718 万円	7.0%
公共下水道事業	13 億 9,477 万円	37.9%
介護保険事業	81 億 4,622 万円	△ 3.7%
介護サービス事業	7,070 万円	△ 4.2%
後期高齢者医療事業	12 億 947 万円	7.6%
III 企業会計	188 億 4,805 万円	12.1%
水道事業	17 億 5,271 万円	7.3%
病院事業	170 億 9,534 万円	12.6%
合計	786 億 1,723 万円	3.5%

# 平成30年度 一般会計当初予算

**【歳入】**  
自主財源では、前年度比で見ると、繰入金が財政調整基金繰入金の増などにより6億1,524万円(38.6%)の増額となりました。一方、市税は固定資産税の減などにより69,677万円(0.5%)の減額、分担金および負担金は民間保育所入園者負担金の減などにより97,000万円(19.6%)の減額となり、自主財源比率は前年度から1.2ポイント低下しました。

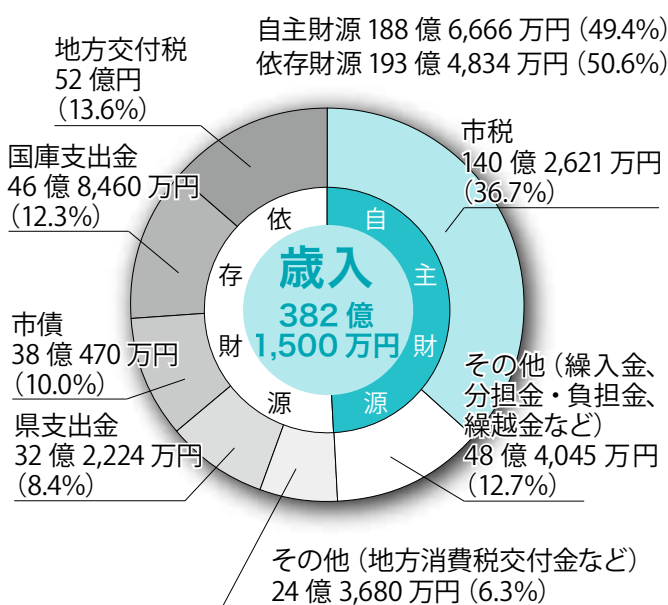
依存財源では、地方交付税が普通交付税の合併算定替加算の縮減により1億円(1.9%)の減額となりました。一方、市債は衛生債、教育債などの借入の増により10億1,750万円(36.5%)の増額となりました。

歳出の性質別構成比率		
性質	区分	構成比率
消費的経費 65.0%	人件費	14.9%
	物件費	19.8%
	扶助費	20.9%
	補助費等	9.0%
	維持補修費	0.4%
投資的経費 12.4%	普通建設事業費	12.3%
	災害復旧事業費	0.1%
その他の経費 22.5%	公債費	12.3%
	繰出金	7.3%
	投資及び出資金等	2.9%
予備費 0.1%		0.1%

## 市債年度末残見込額

区分	残高見込額 (単位：万円)		増減率
	平成 29 年度末	平成 30 年度末	
一般会計	394 億 8,206	389 億 2,249	△ 1.4%
簡易水道事業	3 億 499	5 億 5,474	81.9%
公共下水道事業	38 億 5,158	39 億 9,707	3.8%
水道事業	17 億 5,025	19 億 44	8.6%
病院事業	26 億 5,223	43 億 5,306	64.1%
合計	480 億 4,111	497 億 2,780	3.5%

## 歳入の内訳



**【用語の解説】**

◎歳出の部(目的別分類)  
民生費／児童・高齢者・障害者福祉など  
公債費／市債の返済金と利子の支払い  
教育費／学校教育や社会教育など  
衛生費／保健事業やごみ処理など  
土木費／道路・河川・公園の整備、市営住宅の管理など  
総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理など

◎歳入の部  
市税／市民税など、市に納められた税金  
繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金  
分担金・負担金／保育所入園者の負担金など  
地方交付税／市町村の実状に合わせて国から交付されるもの  
国庫(県)支出金／国(県)からの補助金、負担金など  
市債／市が借り入れるお金

◎歳出の部(性質別分類)  
扶助費／生活扶助、医療扶助など  
物件費／施設の保守管理および一般事務  
普通建設事業費／道路の新設、改良や施設の新増築など  
繰出金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など